

犯罪や事故のない町へ

「安全・安心まちづくり」益城町集会

2月4日、交流情報センターで、「安全・安心まちづくり」益城町集会が行われました。

集会では、住永町長のあいさつの後、御船警察署の本山秀樹署長が、最近の全国的な犯罪傾向や昨年1年間の管内での犯罪、交通事故発生状況について説明しました。また、県環境生活部交通・くらし安全課課長補佐の竹田丈夫氏、主任主事の平田知幸氏が「高齢者が気をつけたい犯罪とその対策について」と題して講演。その中で、「住宅侵入窃盗」や「振り込め詐欺」などを例に挙げ、その対策について語られました。

明るい町づくりを目指すために、一人ひとりの力で犯罪の防止と交通事故撲滅に取り組む必要があります。



本山氏(右上)の話真剣な表情で聞く出席者



園児たちが投げける豆に、鬼もたまらず逃げました

鬼は外！ 福は内！！

町立第2保育所

2月3日、町立第2保育所(宮川久代所長、74人)で節分恒例の豆まきが行われました。

手作りの鬼の帽子をかぶった子どもたちは、自分たちの心の中に潜む「泣き虫鬼」や「意地悪鬼」、「好き嫌い鬼」などを追い出すためにお互いに豆をまき合いました。しばらくすると、どこからともなく大きな太鼓の音と共に金棒を持った赤鬼と青鬼が出現。そのリアルさに子どもたちはクモの子を散らしたように園内を逃げ回り、中には泣き出すも。しかし、皆で「鬼は外」と叫び豆を投げ続けると鬼はたまらず降参し、逃げていきました。その後、優しい福の神が現れると、子どもたちは元の笑顔に戻りました。

お友だちと仲良くします

第5保育所で人権教室

「おもいやりの心を育む人権教室」が2月4日、町立第5保育所(石川美根子所長、75人)で開かれました。

教室ではまず、人権擁護委員御船協議会会長の上妻毅さんが「みんなお友だちをたいせつにし、仲良く遊んでください」とあいさつ。園児たちも大きな声で「ハイ、わかりました」と元気に答えていました。

人権の大切さをテーマにした「勇氣あるホテルと飛べないホテル」のビデオを観賞した後、「人KENあゆみちゃん」のマスコット・キャラクターが登場すると、子どもたちは拍手で大歓迎。ひとりずつ、あゆみちゃんと握手をしながらマスコットのキーホルダーをもらって大喜びでした。



マスコットのあゆみちゃんと握手をする園児たち



受賞の報告に役場を訪れた益城中の生徒のみなさん

壁新聞の全国コンクールで入選

農業体験をまとめた壁新聞で益城中の生徒7人

農業体験などをまとめた壁新聞の全国公募「子どもファーム・ネット活動コンクール」(JA主催)でこのほど、益城中学校の生徒7人が制作し出品した壁新聞「命新聞」が入選を果たし、1月30日に東京・大手町で開かれた「全国交流会・表彰式」で審査委員長特別賞を受賞しました。(全国から44グループ出品)

新聞は、野菜作りを基本としながら、収穫した野菜を使って世界各国の料理を作ることをテーマとし、各国の食文化や食糧難に苦しむ国の状況などを一人ひとりが手分けしてまとめました。

3年連続の入選に生徒たちは「これからも入選できるようにがんばります」と頼もしく話していました。